

バイオガーデン「フジクラ 木場千年の森」(深川ギャザリアW3棟敷地内緑地)

所在地：江東区木場 1-2-15

所有者：株式会社フジクラ

◆完成年月 2010年11月 ◆敷地面積 6,999㎡ ◆緑地面積 2,123㎡ (うち樹木面積 1,770㎡)

◆URL：<https://www.fujikura.co.jp/company/social-contribution/millennium-forest/>

“深川・木場地域の新たなアイデンティティの確立”をコンセプトとする「深川ギャザリア」は2010年に完成しました。同年11月には“江戸深川の原風景”を再現することを目指して、荒川流域の在来種を植栽したバイオガーデン「フジクラ 木場千年の森」がつけられました。

「バイオガーデン」とは、「野生生物が生息している空間」を意味する「ビオトープ」の要素を取り入れた庭園です。「フジクラ 木場千年の森」は野生生物を優先に考えたビオトープ部分と、人も楽しんでくつろげるガーデン部分で構成されています。2つの池と小川を中心とした緑地には、スダジイやシラカシ、コナラなど70種類に及ぶ在来樹木のほか、水草を含めた多くの草本が植栽され、豊かな森が再現されています。

緑地の管理においては除草剤や殺虫剤を極力使わず、手作業を基本に行うなど生きものに配慮しているため、池や小川にはオイカワ、メダカ、ドジョウ、森にはトンボやチョウなどの様々な昆虫が生息し、カワセミやヒヨドリ、カルガモなど様々な鳥が飛来、

営巣するなど、多様な生きものの棲みかとなっています。

近隣小学校や住民を対象とした生きもの観察会を開催するなど、バイオガーデン「フジクラ 木場千年の森」は、地域の人と自然を「つなぐ」空間となっています。



「フジクラ 木場千年の森」全景



ガーデン内に設けられた2つの池



観察されたカワセミ

江戸のみどり登録緑地

<優良緑地>

(2017年9月登録)



在来種植栽情報

○面積割合

高木	86 %
中木及び低木	88 %

○在来種の種数

高木	28 種
中木及び低木	42 種

○おもな樹種

スダジイ、シラカシ、コナラ、カヤ、アカマツ、イロハモミジ、タブ、ガマズミ、ミツバツツジ、ウツギ ほか